

チラシ バッハの神学文庫 J.S.バッハ 響きの の”謎”を探る 東京音楽大学附属図書館 ライ ブラリー・セミナー

内容記述	講師：丸山桂介 2015年11月1日 東京音楽大学 附属図書館5階
URL	http://id.nii.ac.jp/1300/00000932/

東京音楽大学付属図書館 ライブラリー・セミナー

バッハの神学文庫

— J.S. バッハ 響きの 謎 を探る —

講師：丸山桂介

2015 年 11 月 1 日 (日) 13:00-

東京音楽大学付属図書館 5 階

事前申し込み制 (電話またはインターネット)

問合せ・申し込み先：東京音楽大学付属図書館

03 (3982) 2120

<http://tokyo-ondai-lib.jp/bach-archive>

東京音楽大学付属図書館 ライブラリー・セミナー

バッハの神学文庫

—J.S. バッハ 響きの「謎」を探る—

講師：丸山桂介



Biblia : das ist, die gantze Heilige Schrifft, Altes und Neues Testaments / verteutschet durch D. Mart. Luther ; mit dem Anhang deß dritten und vierten Buchs Esra, wie auch D. Jacobi Welleri vorrede und Der Augusburgischen Confession ... [et al.]
Lüneburg : Stern , 1750
(1750 年に出版された聖書)

東京音楽大学元講師である丸山桂介先生の研究室にあったバッハに関する資料をはじめ、バッハを取り巻く思想・神学的背景をひもとく資料や、先生ご自身がヨーロッパやアメリカで集められた貴重な原典資料のマイクロフィルム、18世紀の古い聖書などが東京音楽大学付属図書館に寄贈されることになりました。これらの資料は、今後のバッハ研究に大変役立つものと考えられます。

そこで、今回図書館では、寄贈された資料がどのような意味を持つのか、また、こういった資料を使ってバッハの作品を読み解くことにより、バッハの作品にどんな「謎」があるのかを丸山先生にお話いただきたいとセミナーを開催することになりました。

当日は、バッハの作品をいくつか取り上げ、そこに隠された作品の「謎」を神学的背景から探ります。

講師紹介 丸山桂介

1943年、東京生まれ。日本大学芸術学部音楽科卒（専攻・楽理）。ハンブルク（1982年）、シュトゥットガルト／ライプツィヒ（1986／87年）でバッハ、並びにベートーヴェン研究。元東京音楽大学講師。著書に『バッハと教会』（音楽之友社）、『プロメテウスのシンフォニー—精神史としてのベートーヴェン』『ウィーンのモーツァルト』『バッハ ロゴスの響き』『神こそわが王—精神史としてのバッハ』『バッハ「聖なるもの」の創造』（以上、春秋社）などがある。

セミナーは電話かインターネットからの事前申し込みになります。

東京音楽大学付属図書館

03 (3982) 2120

<http://tokyo-ondai-lib.jp/bach-archive/>

